

事務事業名	県都市指導主事会参画事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12120				
	□ 実施計画事業		所属課室	南アルプス教育推進課	課長名	飯窪 俊貴				
			所属担当	教育指導担当	担当者名	小林 智奈美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	10	01	02	020	57
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> その他の事業		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金	
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
	学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導等、指導主事の職務をよりよく遂行するために県内各地域の指導主事等と交流し、また、教育に関する諸問題の解明と教育施策の推進を図る。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				負担金	90					
						計			90	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	年間を通して計画的で主体的な研修や講演会等へ出席し、小中学校の教育に寄与する。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	年間を通して計画的で主体的な研修や講演会等へ出席し、小中学校の教育に寄与する。			ア 郡市指導主事研修会参加	日
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	教育指導担当指導監および指導主事		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 指導監・指導主事	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	研修したことが校内研究会等の学校訪問折の指導に活かす。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 郡市指導主事研修会参加	日
					イ 情報・知識を提供した人数	人
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	研修の内容を的確に還元することにより、市内小中学校の教育推進に寄与する。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 情報・知識を提供した人数	人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	130	36	90	90	90			
		事業費計(A)	千円	130	36	90	90	90	0		0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2					
		延べ業務時間	時間	240	240	75					
		人件費計(B)	千円	1,092	1,092	341	0	0	0		0
		(A)+(B)	千円	1,222	1,128	431	90	90	0		0
	活動指標	ア	日	15.0	15.0	12.0	15.0	15.0			
		イ									
		ウ									
	対象指標	ア	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
		イ									
		ウ									
	成果指標	ア	日	15.0	15.0	12.0	15.0	15.0			
		イ	人	585.0	550.0	550.0	550.0	550.0			
		ウ									
	上位成果指標	ア	人	585.0	585.0	585.0	585.0	585.0			
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	本会は指導主事の力量を高めるために、南アルプス市誕生以前より活動しており、市教育委員会に指導主事が配置されたときより参画している。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	めまぐるしい社会変化により、教育環境をはじめ子どもたちを取り巻く状況は厳しいものといえる。したがって指導主事に求められる資質はより多様化していくと思われる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	事業の継続・推進が求められている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	より適時的な研修内容の改善が進められている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	研修内容について、使途を明確にしたうえで支出を行った。

事務事業名	県都市指導主事会参画事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	------------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 研修会の還流が学校教育の充実に役立っている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 研修内容や活動を踏まえ、市内小中学校の教員に指導・助言を行っている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 研修の負担金内容について、検討した結果、旅費として支払いをするものなど見直しを行った。但し、指導主事の事務局が毎年変わるため、あらかじめの事業計画内容の詳細が新年度予算作成時には不明なため、予算額については余裕をもって計画している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 すでに、負担金内容を見直しているため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 本事業を廃止することにより、情報収集・周知が困難になってしまう。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 本事業を廃止することにより、情報収集・周知が困難になってしまう。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 負担金内容は、見直しを行った。研修内容について、市内小中学校へ還元する目的があるため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 指導監と指導主事の教員職が、出席するため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 研修の成果は、市内全体の公立小中学校の指導に活かされている。但し、上記の内容については、見直しを行う必要はある。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の教育方針や制度が見直しされるたびに、学校現場においても早急な対応が必要になる。指導主事が研修を受け、市内小中学校の教職員に対し還元していくことは、重要なことと考えている。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果水準</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 年間のスケジュールを調整しながら、指導監、指導主事が参加できるようにする。研修内容を市内小中学校の教員へ伝えることや研究事業等へ指導助言できるよう計画的に実施する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 事務局から年間のスケジュールをもらい、年間において計画的に参加できるようにする。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					